

Course title <English>	知的財産法演習 Practicum for Intellectual Properties Protection Law		Affiliated department, Job title,Name	Part-time Lecturer,TOUMA HIROFUMI	
				Part-time Lecturer,SOJO ISAMU	
Target year	Professional degree students	Number of credits	2	Course offered year/period	2018/Irregular, Second semester
Day/period	月 6	Class style	Lecture	Language	Japanese
[Outline and Purpose of the Course]					
I. コースの概要 ・化学・バイオ系（ライフサイエンス）分野における知的財産が我が国において、どのように保護、活用されているのかを裁判例等を踏まえつつ概観し、その現状、論点等について学習する。 ・過去の判決例からそのエッセンスや傾向を分析し、知的財産を適切に保護および活用するために必要な基本的な方法論を学ぶ。 ・ライフサイエンス分野における知的財産を取り巻く現状についても、併せて学習する。					
[Course Goals]					
II. 学習到達目標（このコース終了時までには習得が期待できること） ・過去の重要判決例の主要論点を分析し、論理的にその意義を理解すると共に、具体的な事例演習を通して知的財産を適切に保護する実務能力を身に付ける。 ・判決例からそのエッセンスや近時の傾向を学ぶことにより、ライフサイエンス分野特有の知的財産の保護および活用方法についての実践力を身に付ける。 ・ライフサイエンス分野に関する知的財産を取り巻く現状について理解を深める。					
III. 教育・学習方法 ・パワーポイント資料を中心にした講義、および事例資料を使用した討議や演習を通じて理解を深める。					
[Course Schedule and Contents]					
第1回 10月 1日ガイダンス、総論 第2回 10月15日熊谷先生：審判の役割について 第3回 10月22日審決・判決の読み方、審判制度 第4回 10月22日審決取消訴訟（新規性、進歩性） 第5回 10月29日宗定先生：知的資本経営を目指して 第6回 11月 5日審決取消訴訟（進歩性）(1) 第7回 11月12日審決取消訴訟（進歩性）(2) 第8回 11月19日審決取消訴訟（記載要件、補正、訂正） 第9回 11月26日事例研究（進歩性）（発表、討論） 第10回 12月 3日審決取消訴訟（存続期間延長登録出願） 第11回 12月10日特許権侵害訴訟（1）：特許権の効力、特許発明の技術的範囲、均等論、抗弁 第12回 12月17日熊谷先生：特許制度全般について 第13回 1月21日特許権侵害訴訟（2）：間接侵害等 第14回 1月21日特許権侵害訴訟（3）：間接侵害等 第15回 1月28日事例研究（侵害訴訟）（発表、討論） 試験なし  外部講師の都合等で日程変更等の可能性あり。					
-----					
Continue to 知的財産法演習(2)					

## 知的財産法演習(2)

### [Class requirement]

知財必修・MPH選択

特許法上の実務に関する基礎知識（特許要件、審査基準等）を有していることが望ましい。  
事前あるいは同時に履修することが推奨される科目：「特許法特論・演習（前期、後期）」

### [Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]

平常点（出席を含む）、および課題レポートの提出により、総合的に評価する。

### [Textbook]

必須テキスト：なし。必要な資料等は講義にて配布する。

推奨テキスト：別冊ジュリスト 特許判例百選 第4版〔No.209〕（2012年4月発行）

### [Reference books, etc.]

（Reference books）

Introduced during class

### [Regarding studies out of class (preparation and review)]

講義で紹介する予定の判決例を予習し、争点を把握しておく。

### （Others (office hour, etc.)）

・化学、バイオ等についての高度な専門知識は要しない（技術内容については必要に応じて適宜説明する。）。

・講義予定は、暫定的なものであり、変更があり得るため、注意のこと。

・10月22日及び1月21日は5限及び6限の連続講義となる予定です。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 可

\*Please visit KULASIS to find out about office hours.